

まつのおさんしゅげんどうかいほうぎょう

松尾山修験道回峰行実行委員会

英彦山神宮で獅子舞奉納

今年で7回目となる松尾山修験道回峰行が40名参加のもと11月22日(土)、23日(日)の1泊2日の日程で、開催されました。このイベントは、松尾山の修験者たちが行っていた峰入り修行の足跡を巡る回峰行です。

峰入りとは、修験者が山々を巡り、山や岩、巨樹など大自然に宿る神霊と交感し、修行によって自らの霊力を高めようとする山岳修行です。

22日、午前7時に上毛町の西端にある松尾山三社神社を出発、雁股山、豊前市松尾河内、轟、中津市耶馬溪町津民をそれぞれ経由し、標高1131メートルの犬ヶ岳南山腹を縦走しながら国道496号を通り、野峠から英彦山青年の家に到着しました。

最も気温が下がる夜から明け方にかけて、厳寒の一夜を過ごし、翌23日午前9時30分には前日の疲労に打ち勝ち、英彦山青年の家からゴールとなる英彦山神宮奉幣殿までを歩き、回峰行の全行程を完歩しました。

その後、奉幣殿で新嘗祭が執り行われ、大勢の見学者の中、奉幣殿前で英彦山から学んだ「獅子舞」と松尾山だけに伝わる「色衆の楽」を奉納しました。社務所で昼食をとった後、ゆいぎらへと帰り、完歩した方には満行証が交付されました。

来年、第8回目の松尾山修験道回峰行は、今年の逆コース「英彦山から松尾山までの約30kmの回峰行」を11月に行う予定です。

●問い合わせ先 松尾山修験道回峰行実行委員会 TEL 72-3939(福本)



まん ぎょうしょう

「満行証」

古の修験者たちは険しい山岳を回峰する峰入修行として、松尾山と英彦山の間の往復や英彦山六峰となる互いの峰々を渡り歩いていました。しかしながら、日々車社会の中で生活している我々にとって、山岳歩行 30.3 キロメートルは未体験で未知の領域であり、達成することが困難な荒行といえます。この荒行を見事満行されたあなたは、この先たとえ辛いことや苦しいことに向き合うことがあったとしても、この回峰行を途中で諦めずに歩き通した不撓不屈の精神を思い出し、勇猛果敢に乗り越えてください。

成恒子ども神楽愛好会

秋祭りシーズン到来！

9月から12月の週末は、町内外各地域の神社で行われる秋祭に参加し、春から積み重ねてきた練習の成果を発揮します。観客からは、かけ声や拍手をいただき、迫力の舞いに思わず泣き出す赤ちゃんや可愛らしい仕草に写真を撮る人たちもいて、子どもたちは年間で一番輝きます。ただ舞うのではなく、昔からの祭りを継承している地域の皆さん、地域のお神様や自分の家族、神楽に携わるすべての人たちに感謝の気持ちを持ちながら日々成長していきます。

施設訪問、イベント参加

10月の秋祭りのない週末に中津市の自動車販売店のイベントに参加しました。店頭での子どもたちの舞に、多くの皆さんが足を止めて観ていただきました。

また11月は、神輿の発祥地である安心院の老人福祉施設を慰問しました。スリッパを履いたまま舞い始めるというハプニングもあった1時間以上の公演でしたが、子どもたちのがんばりに入所者の皆さんも最後まで集中して観ていただき、愛くるしさに涙をながす方もいました。

●問い合わせ先 成恒子ども神楽愛好会 TEL 84-7520(岩井)



上毛町地域づくり協議会ホームページ公開中

各団体の活動の内容や紹介を掲載しています。

www.ibukinosato.jp/



地域の元気がまちを動かす

住んで良かったと思える上毛町を
住民の力で次世代に引き継ごう

上毛町地域づくり協議会
いぶきの里

福岡県築上郡上毛町大字下唐原1649-1

(TEL/FAX) 0979-72-4555 E-mail ibukinosato@honey.ocn.ne.jp

上毛町地域づくり協議会は、住んでよかったと思える上毛町を住民の力で次世代に引き継いでいくために、地域づくり活動を行っています。

あげなんもんや
こげなんもんが
がんばる

HOME

地域づくり協議会とは

参加団体紹介

イベント情報

上毛のいぶき

リンク集



上毛の力発進

まちに人あり
住民の力で次世代に

上毛町地域づくり協議会 会長 山下 朗

協議会の活動拠点施設「いぶきの里」は地域団体の交流場所であり、上毛町の情報発信基地です。町内外を問わず、多くの方に利用していただけるよう、皆さん一緒に上毛町を盛り上げていきましょう。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

Act at the forefront
常にまちづくりの先頭に立って行動する！